

【証券コード：6728】

第1四半期 決算説明資料(連結) (2011年6月期)

2010年11月11日

株式会社 アルバック

◆ 将来見通しに関する記述についての注意事項

このプレゼンテーション資料で述べられている将来の当社に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。当社グループのお客様であるフラットパネルディスプレイ(FPD)・半導体・太陽電池・電子部品などの業界は技術革新のスピードが大変速く、競争の激しい業界です。

また、世界経済、為替レートの変動、FPD・半導体・電子部品・原材料などの市況、設備投資の動向など、当社グループの業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。したがって、実際の売上高および利益は、このプレゼンテーション資料に記載されている予想数値とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

◆ 本資料における表示方法について

数値： 単位未満四捨五入

比率： 百万円単位で計算後、単位未満四捨五入

会計期間の表現

2Q(累計) : 第2四半期連結累計期間

2Q : 第2四半期連結会計期間

注)2010年6月期よりセグメント及び品目の名称を変更しています。

事業環境

■ アルバックをとりまく経営環境

▶ 円高が継続し、価格競争が激化

▶ 液晶関連

- ◆ 欧米市場の低迷で設備投資は一時停滞
- ◆ 中国進出予定の外資系液晶メーカーの投資決定が不透明
- ◆ 中国の液晶メーカーは量産工場の建設を開始

▶ PC需要減速。スマートフォン、タブレットPC関連好調

- ◆ メモリ関連投資は堅調を維持
- ◆ 有機ELを中心とした中小型ディスプレイの投資が本格化
- ◆ タッチパネル市場が堅調

▶ 温暖化ガス削減でエネルギー・デバイスが伸長

- ◆ 太陽電池は薄膜系、結晶系の引き合いが具体化
- ◆ LEDは台湾、中国、韓国、日本で引き続き市場拡大
- ◆ 環境対応車関連のコンデンサー、パワー半導体関連

1Q(2011/6期)業績

受注高は、韓国向け中小型液晶、中国向け大型液晶製造装置、LEDやメモリ製造装置などが寄与。売上高は、韓国、台湾向け液晶製造装置、LEDやメモリ製造装置が寄与。利益面では、収益性の良い売上物件の前倒し、液晶・半導体製造装置、コンポーネントが寄与し想定を上回る。

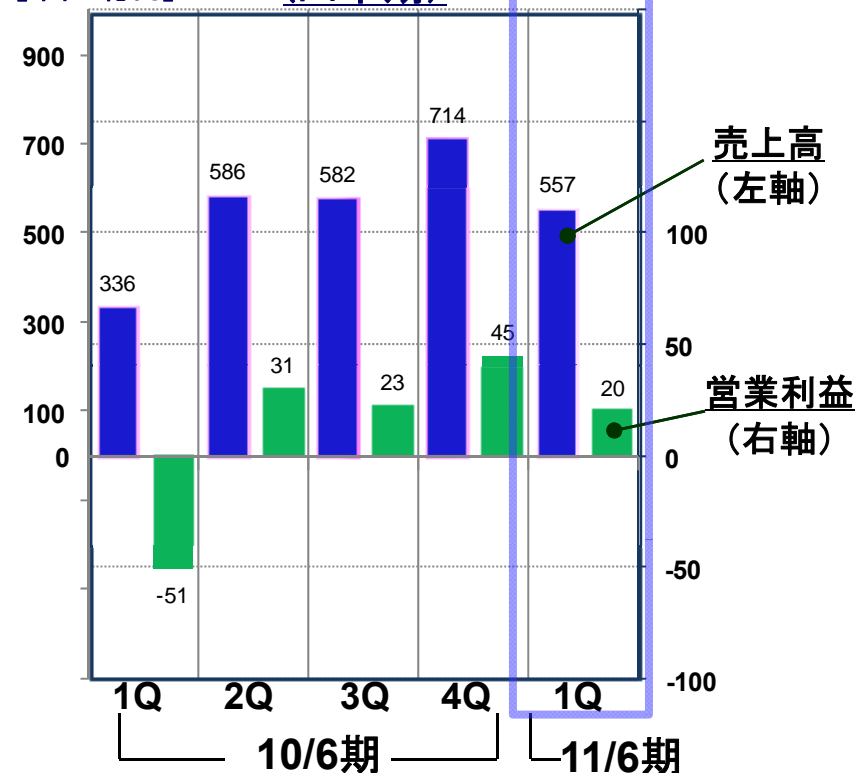
【単位:億円】

	09/6期 1Q	10/6期 1Q	11/6期実績	
			1Q	前年同期比 (増減率)
受注高	779	411	604	47%
受注残高	1,853	1,157	1,131	-2%
売上高	566	336	557	66%
営業利益率	22 3.9%	-51 -15.1%	20 3.7%	—
経常利益率	11 2.0%	-48 -14.3%	19 3.4%	—
四半期純利益率	15 2.6%	-32 -9.4%	12 2.2%	—

売上高と営業利益の推移

【単位:億円】

(四半期)



【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

1Q(2011/6期)売上・受注実績(品目別)

品目別売上高実績

【単位:億円】

セグメント	11/6期 1Q		
	売上高	構成比	前年同期比 (増減率)
真空機器事業	465	83%	+83%
FPD製造装置	240	43%	+50%
PV製造装置	73	13%	+219%
半導体及び電子 部品製造装置	55	10%	+91%
コンポーネント	60	11%	+160%
一般産業用装置	37	7%	+86%
真空応用事業	93	17%	+9%
材料・部材	49	9%	+3%
その他	44	8%	+18%
合計	557	100%	+64%

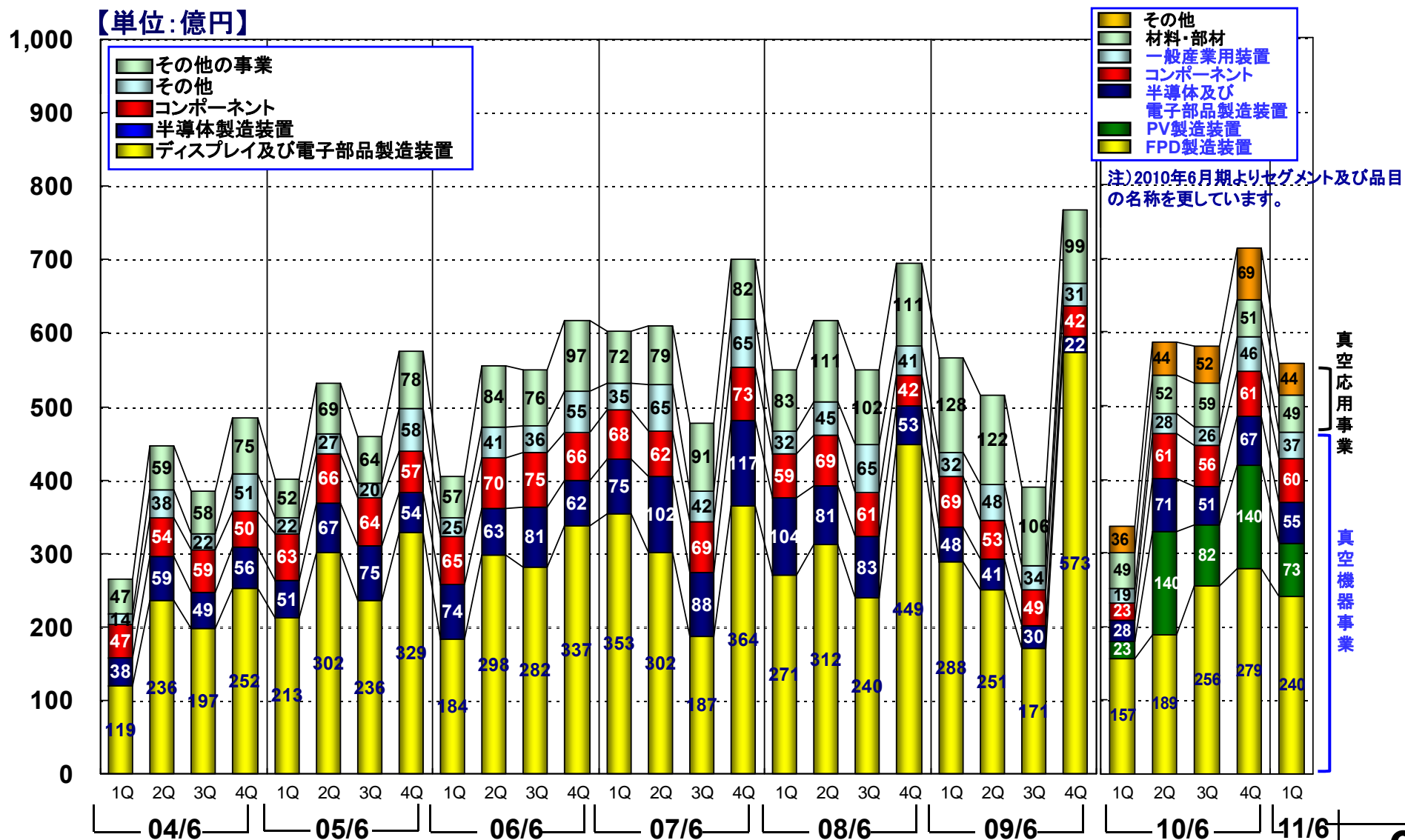
品目別受注高実績

【単位:億円】

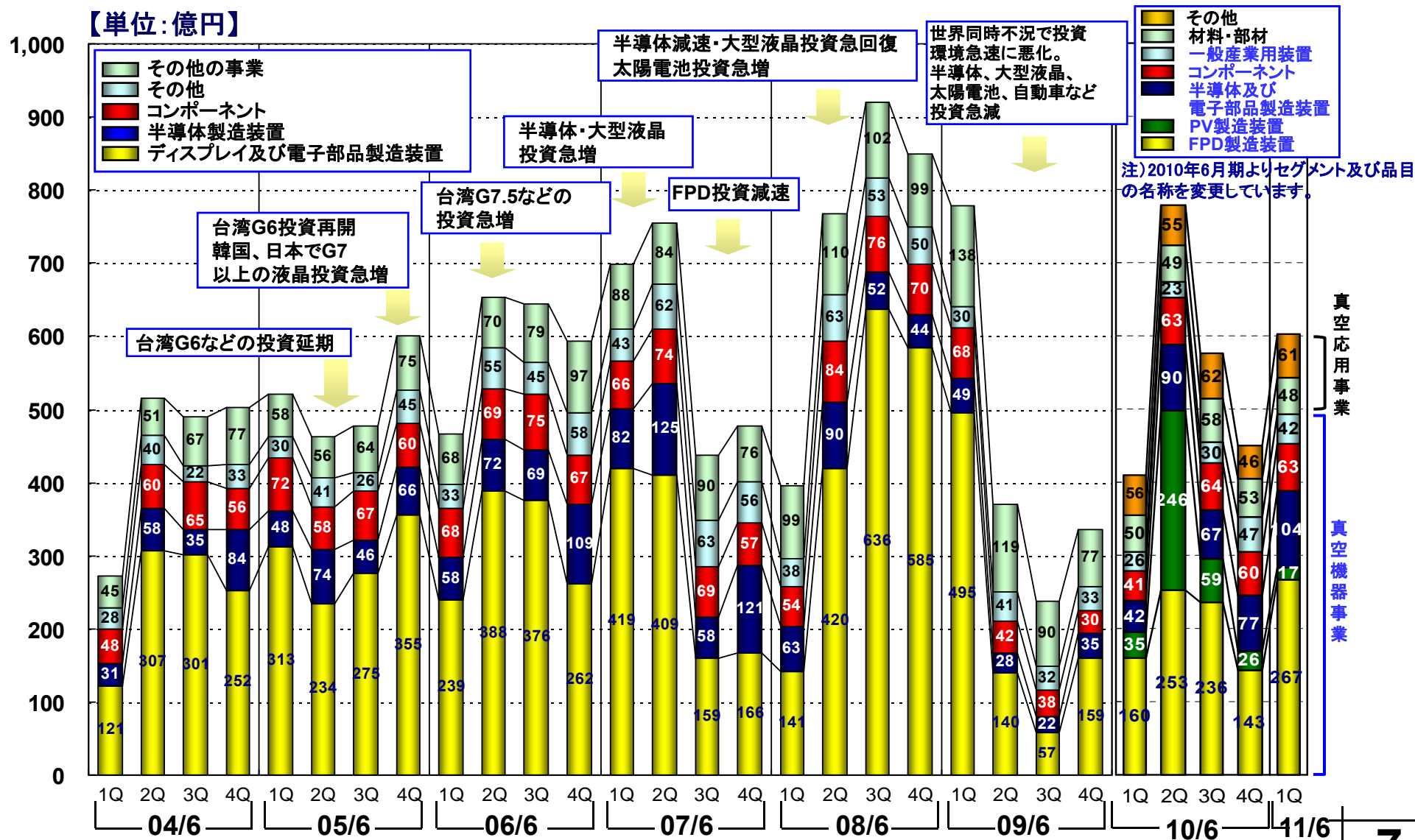
セグメント	11/6期 1Q		
	受注高	構成比	前年同期比 (増減率)
真空機器事業	494	82%	+63%
FPD製造装置	267	44%	+68%
PV製造装置	17	3%	-51%
半導体及び電子 部品製造装置	104	17%	+150%
コンポーネント	63	10%	+54%
一般産業用装置	42	7%	+60%
真空応用事業	110	18%	+3%
材料・部材	48	8%	-2%
その他	61	10%	+8%
合計	604	100%	+48%

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

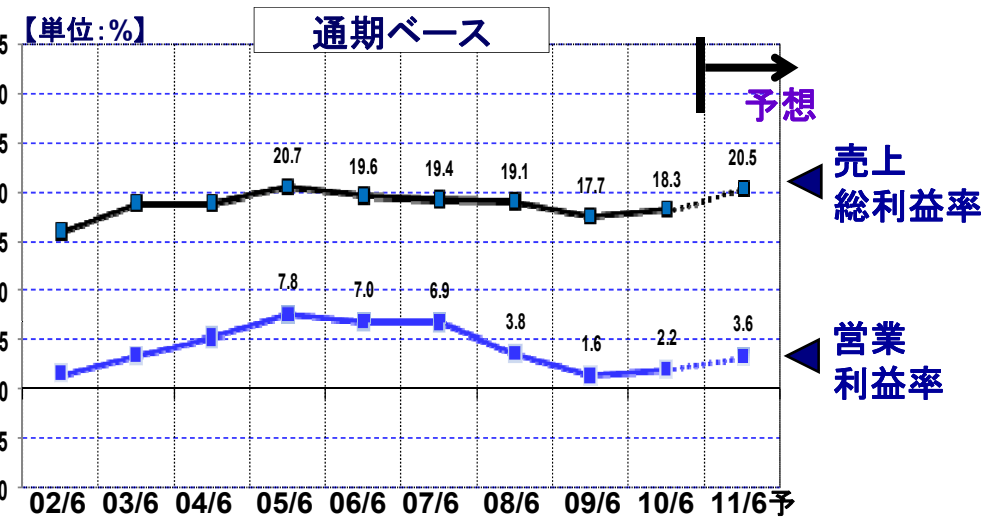
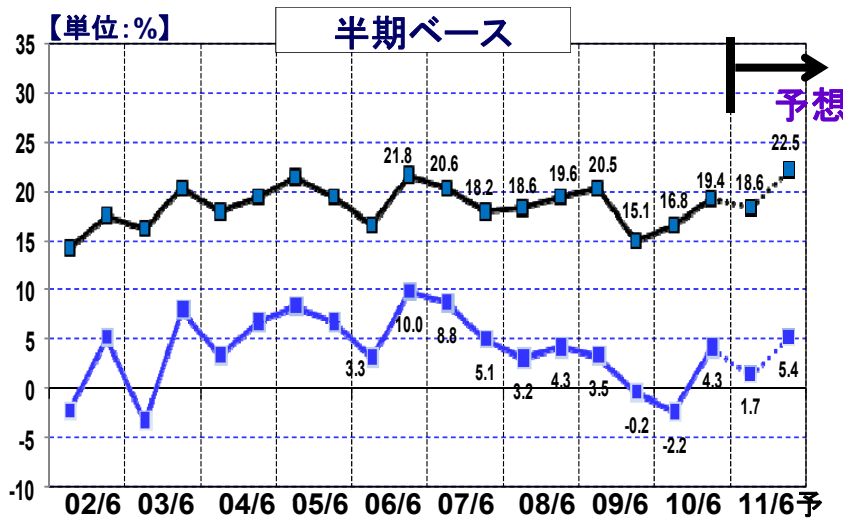
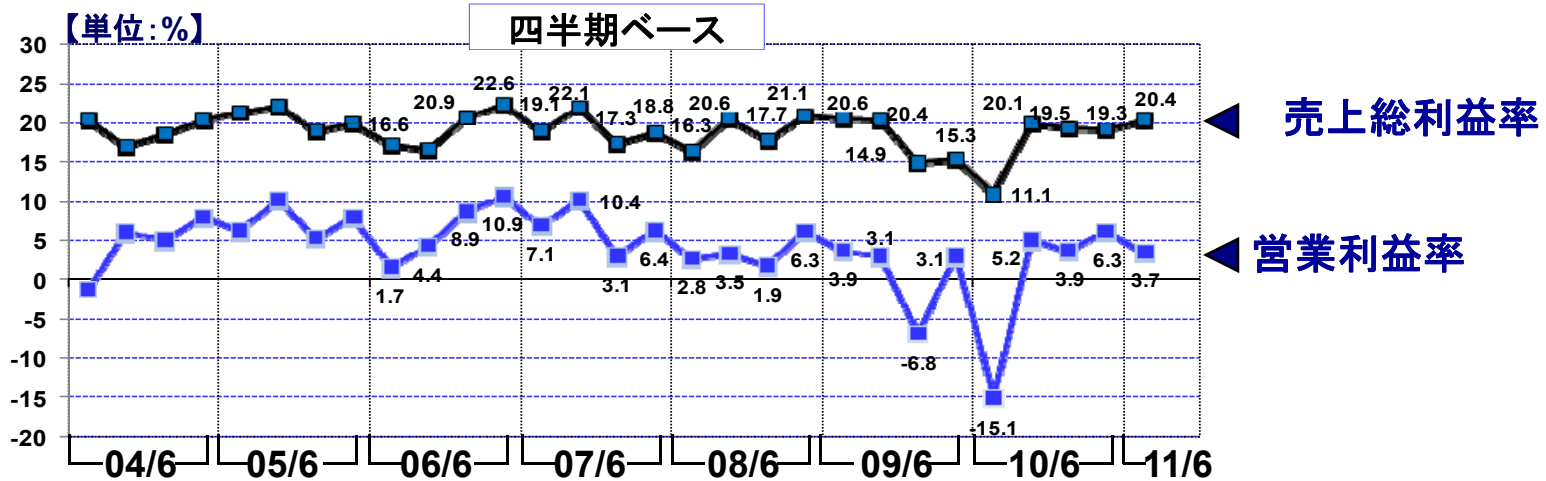
品目別売上高(四半期ベース)



品目別受注高(四半期ベース)



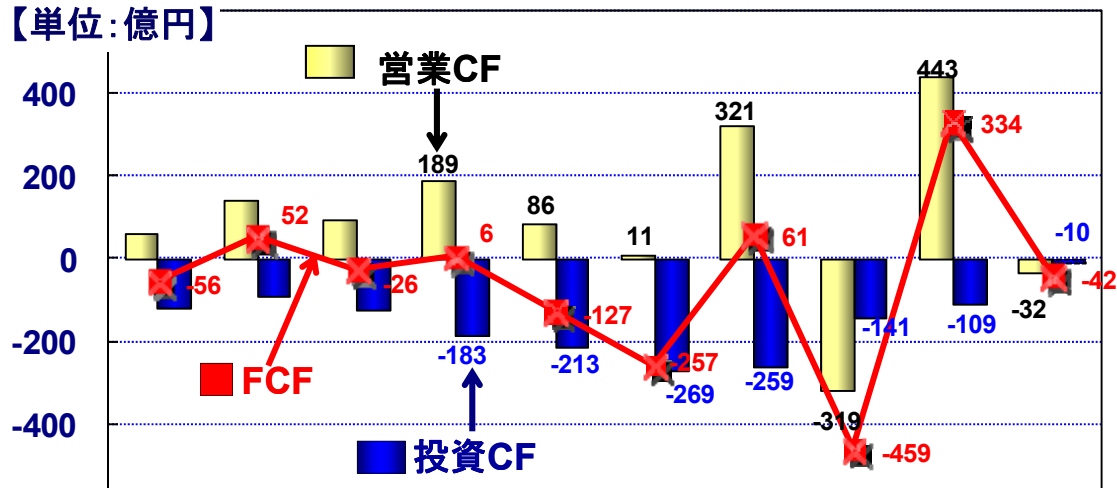
利益率の推移・予想



【小数点以下第2位は四捨五入】

キャッシュ・フローと有利子負債の実績

【単位：億円】



キャッシュ・フロー実績 (2011/6 期 1Q)

■ **営業CF: ▲12億円**

＜プラス要因＞

税前四半期純利益	17億円
減価償却費	27億円
仕入債務増加	6億円
前受金増加	15億円

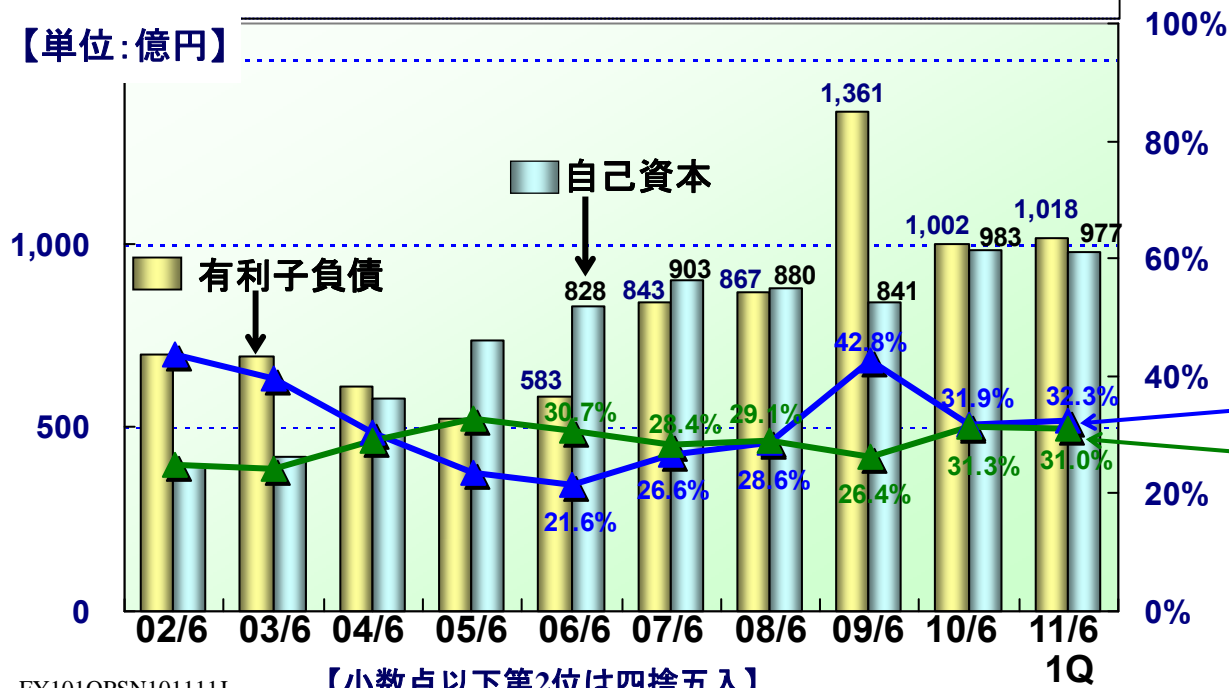
＜マイナス要因＞

売上債権増加	58億円
棚卸資産増加	36億円

■ **投資CF: ▲30億円**

固定資産取得支出	34億円
有価証券取得支出	5億円

【単位：億円】



FY101QPSN101111J

【小数点以下第2位は四捨五入】

1Q

2011/6期業績予想

受注、売上とも、FPD、半導体(メモリ、LED)、コンポーネントが寄与。マテリアル(LCD向け)は下期回復する見込み。PVは低迷続く。中国、韓国で堅調に推移。利益面は2Qで減少、3Q以降回復。FPDが好調。半導体、コンポーネント、マテリアルは前期比で回復、PVは大幅減。

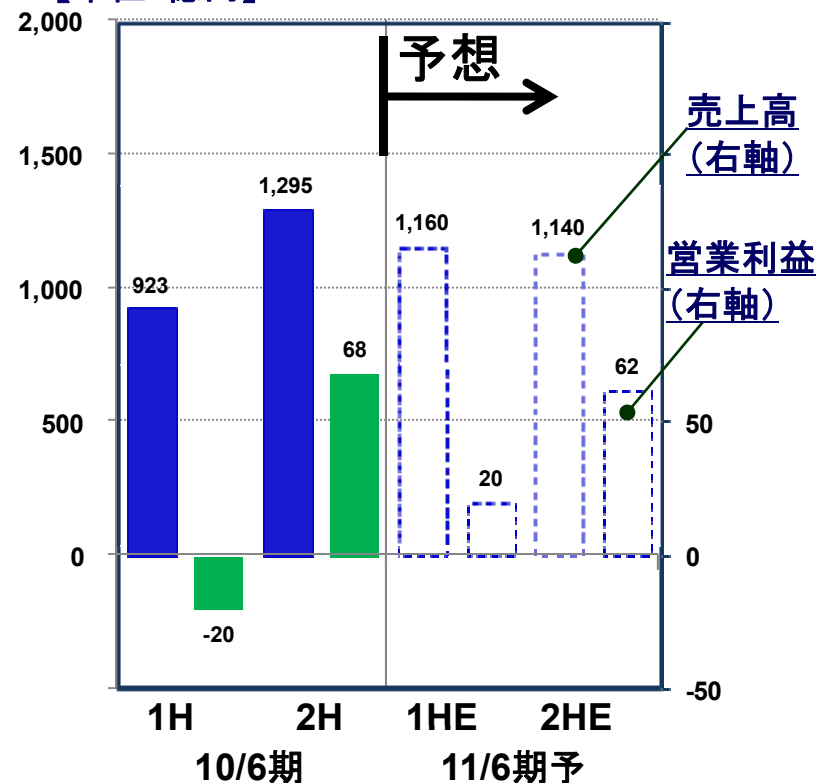
2Q(累計)及び通期予想の変更はありません。

【単位:億円】

	10/6期 実績	11/6期予	
		2Q(累計)	通期
受注高	2,217 (+29%)	1,126 (-5%)	2,350 (+6%)
受注残高	1,083	1,051	1,135
売上高	2,218 (-1%)	1,160 (+26%)	2,300 (+4%)
営業利益	48 (+38%)	20 —	82 (+71%)
営業利益率	2.2%	1.7%	3.6%
経常利益	49 (+492%)	12 —	65 (+32%)
経常利益率	2.2%	1.0%	2.8%
当期純利益	21 (+164%)	4 —	34 (+59%)

売上高と営業利益の推移・予想

【単位:億円】



【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

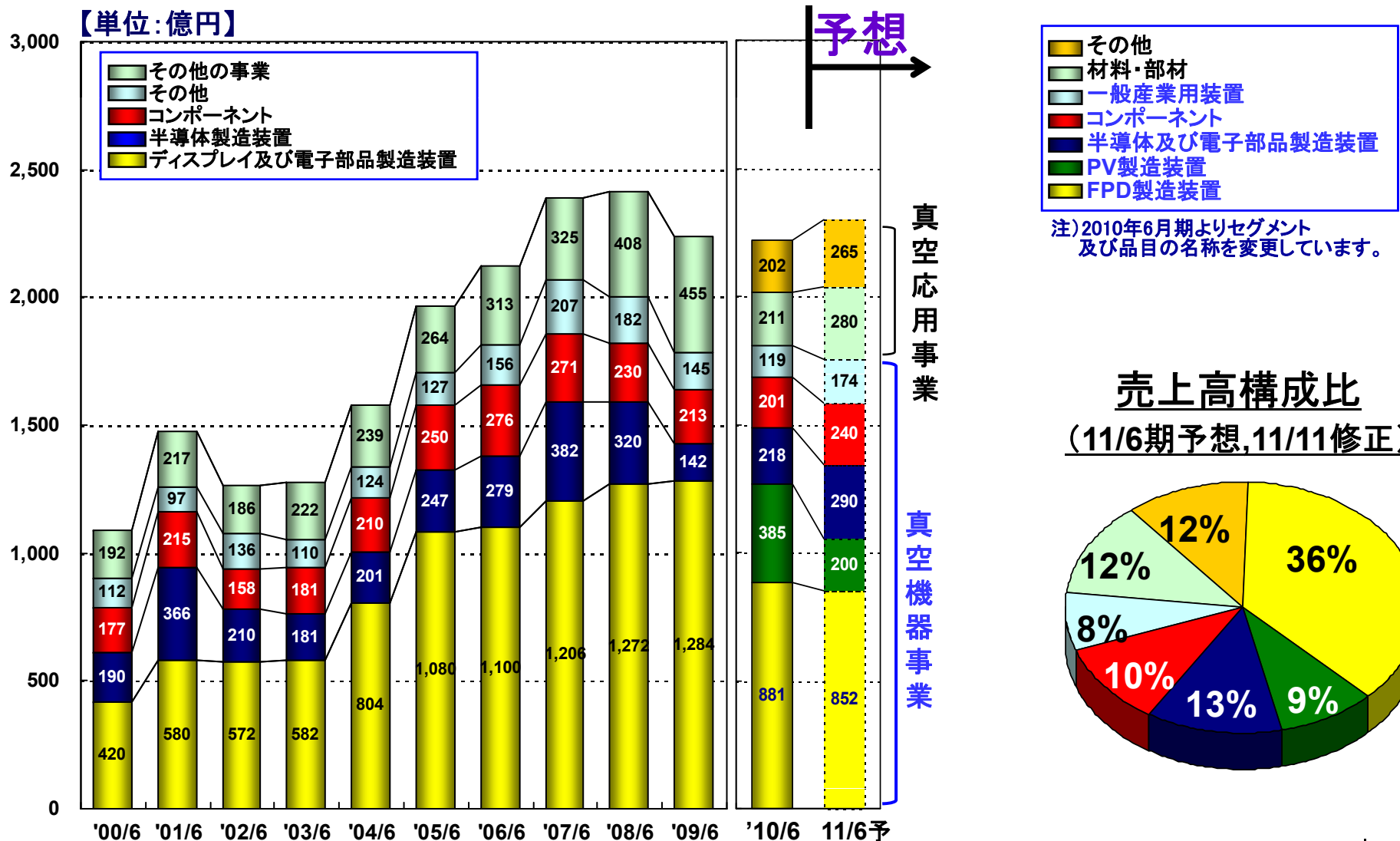
品目別売上高予想

【単位:億円】

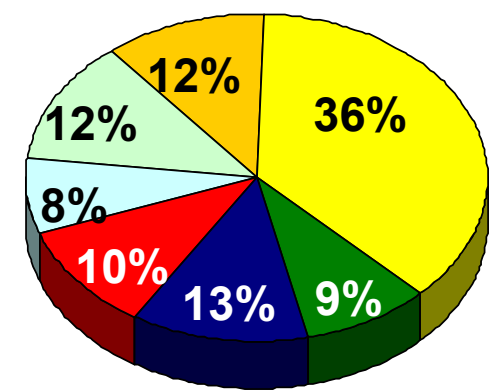
10/6期		11/6期			
セグメント及び品目	実績	従来予想	見通し(11/11修正)		主な変動要因
			売上高	予想比(増減率)	
真空機器事業	1,805	1,736	1,755	1%	
FPD製造装置	881	852	852	0%	予定通り
PV製造装置	385	200	200	0%	予定通り
半導体及び電子部品製造装置	218	279	290	4%	メモリ、LED、パワー半導体など増加
コンポーネント	201	237	240	1%	FPD製造装置向けポンプ回復で増加
一般産業用装置	119	168	174	4%	環境対応車、タッチパネルなど増加
真空応用事業	413	564	545	-3%	
材料・部材	211	287	280	-2%	ほぼ予定通り
その他	202	277	265	-4%	円高で中国向け中古機ビジネスが振るわず
合計	2,218	2,300	2,300	0%	

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

品目別売上高実績・予想

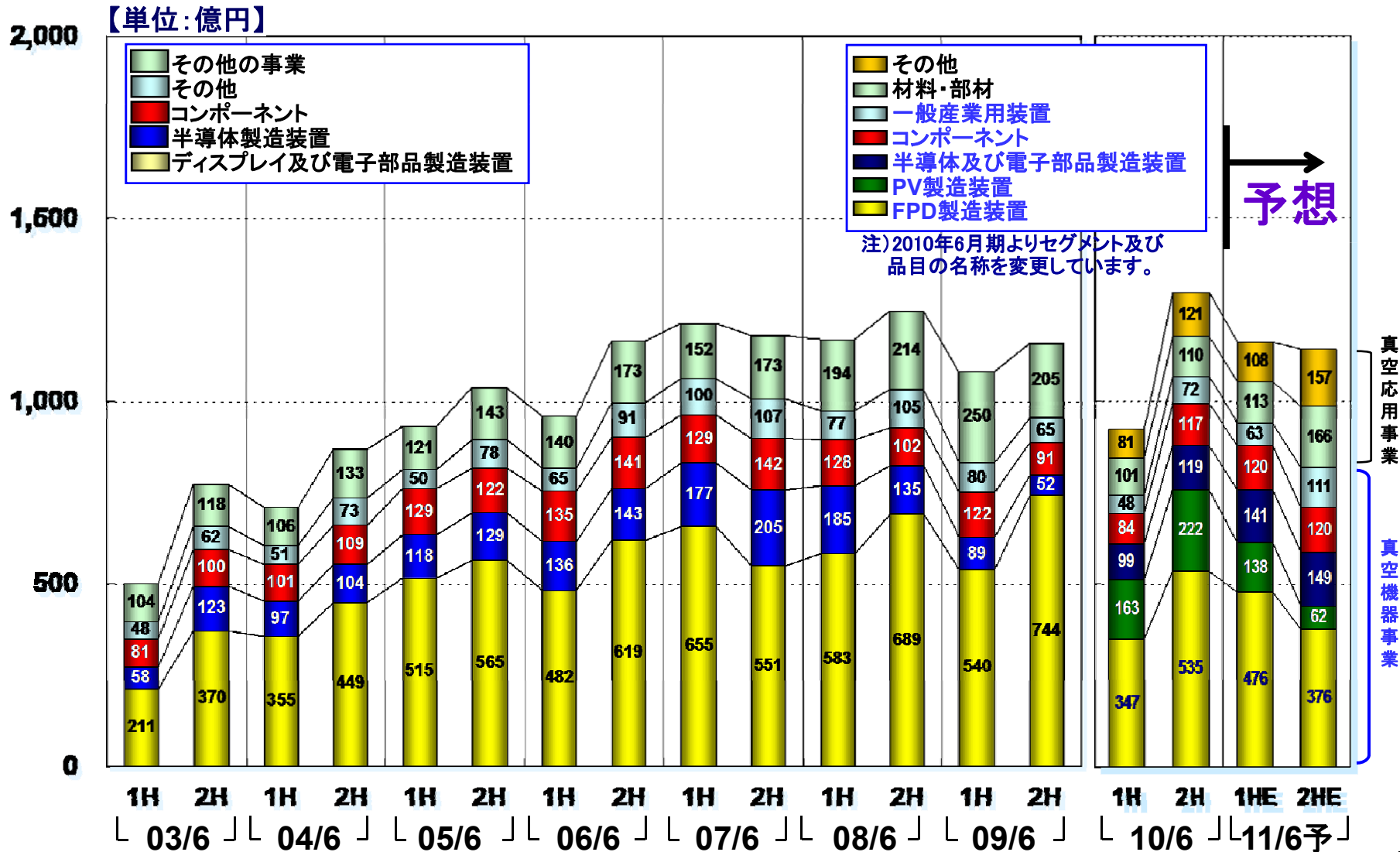


売上高構成比
(11/6期予想, 11/11修正)



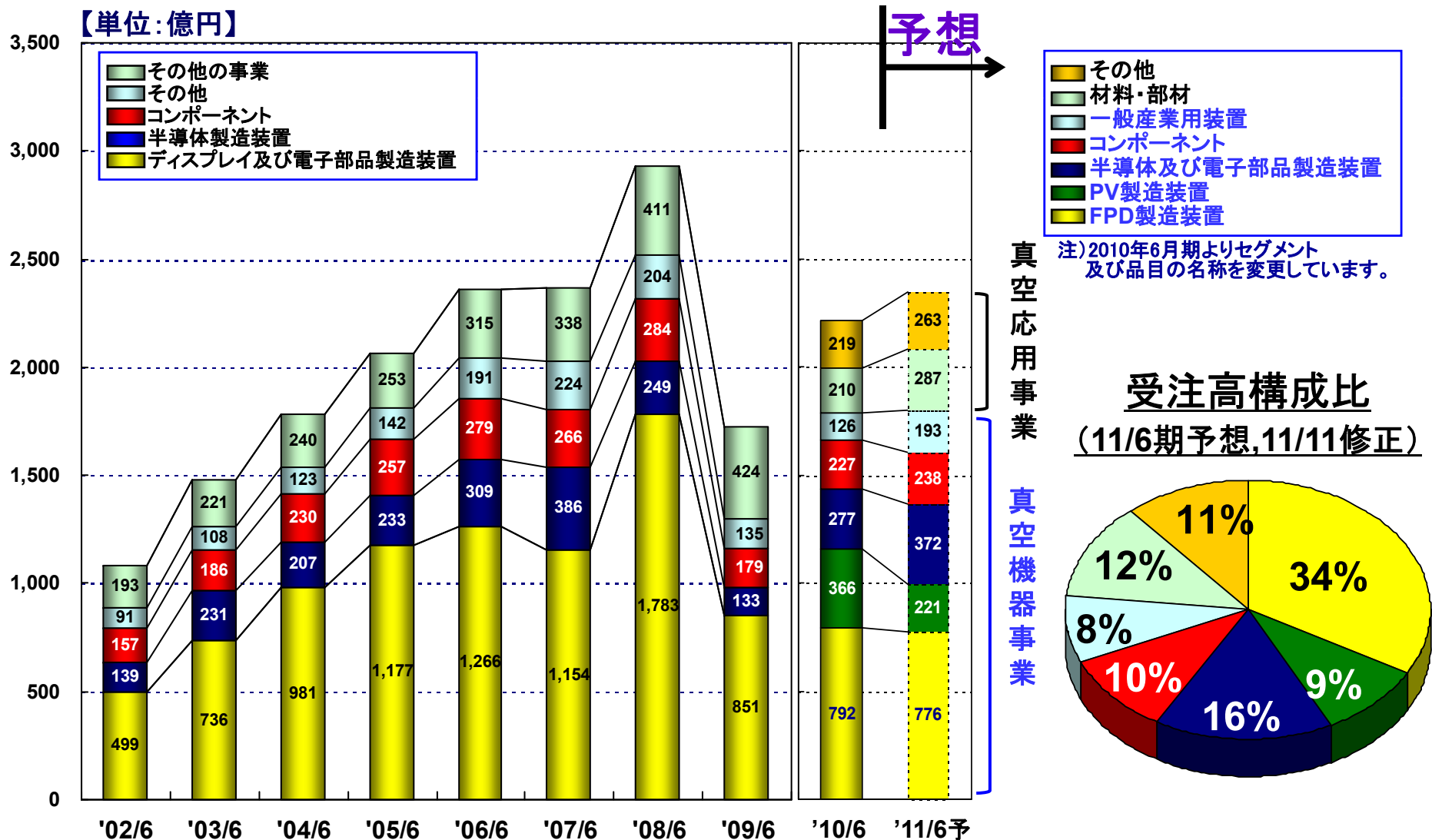
【注】記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。

品目別売上高推移・予想(半期毎)

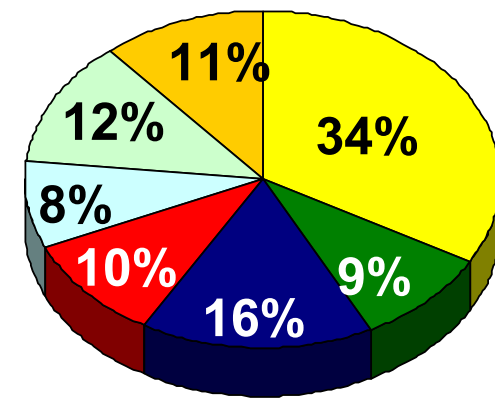


【注】記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。

品目別受注高実績・予想

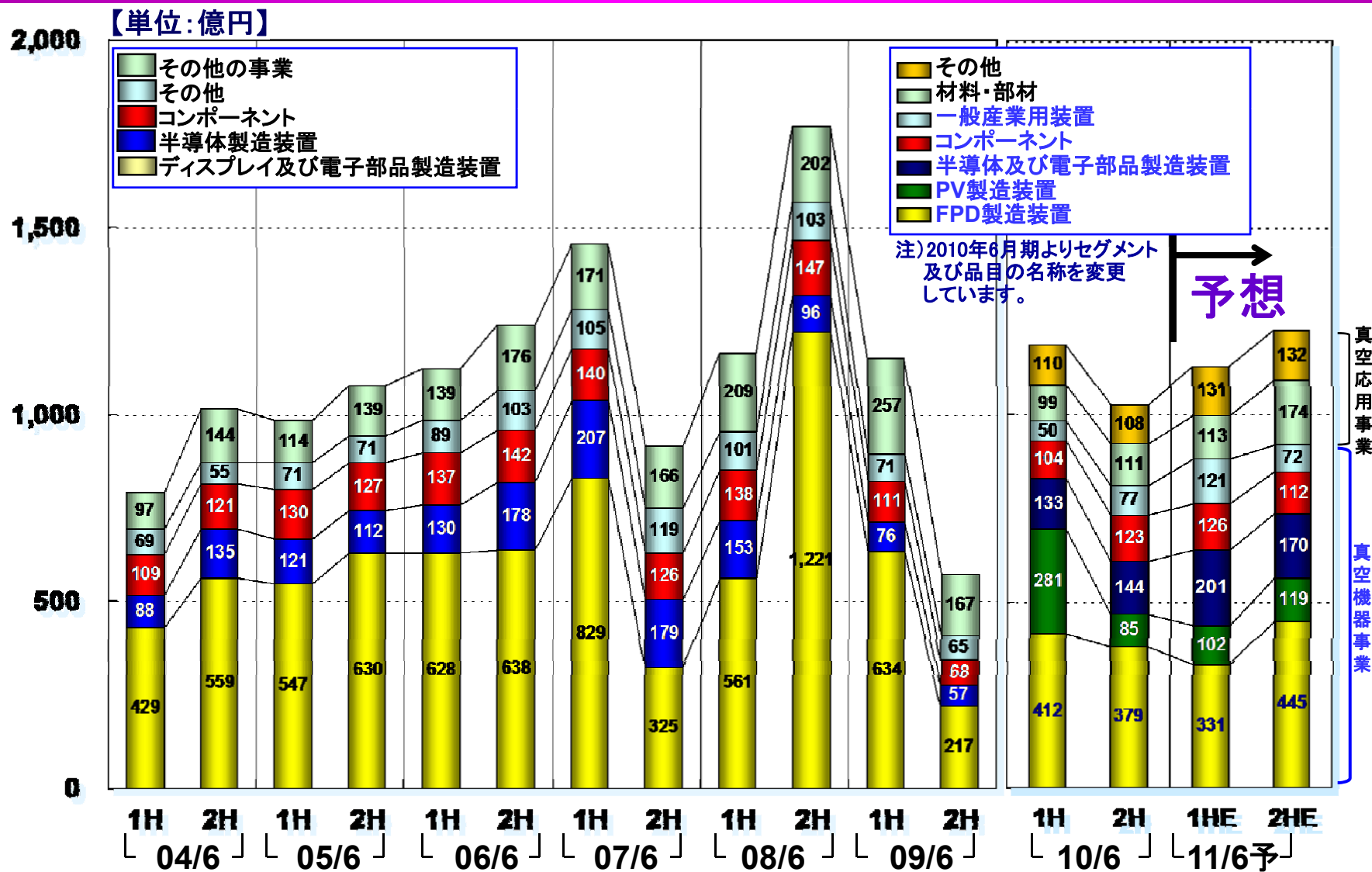


受注高構成比
(11/6期予想, 11/11修正)



【注】記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。

品目別受注高推移・予想



【注】記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

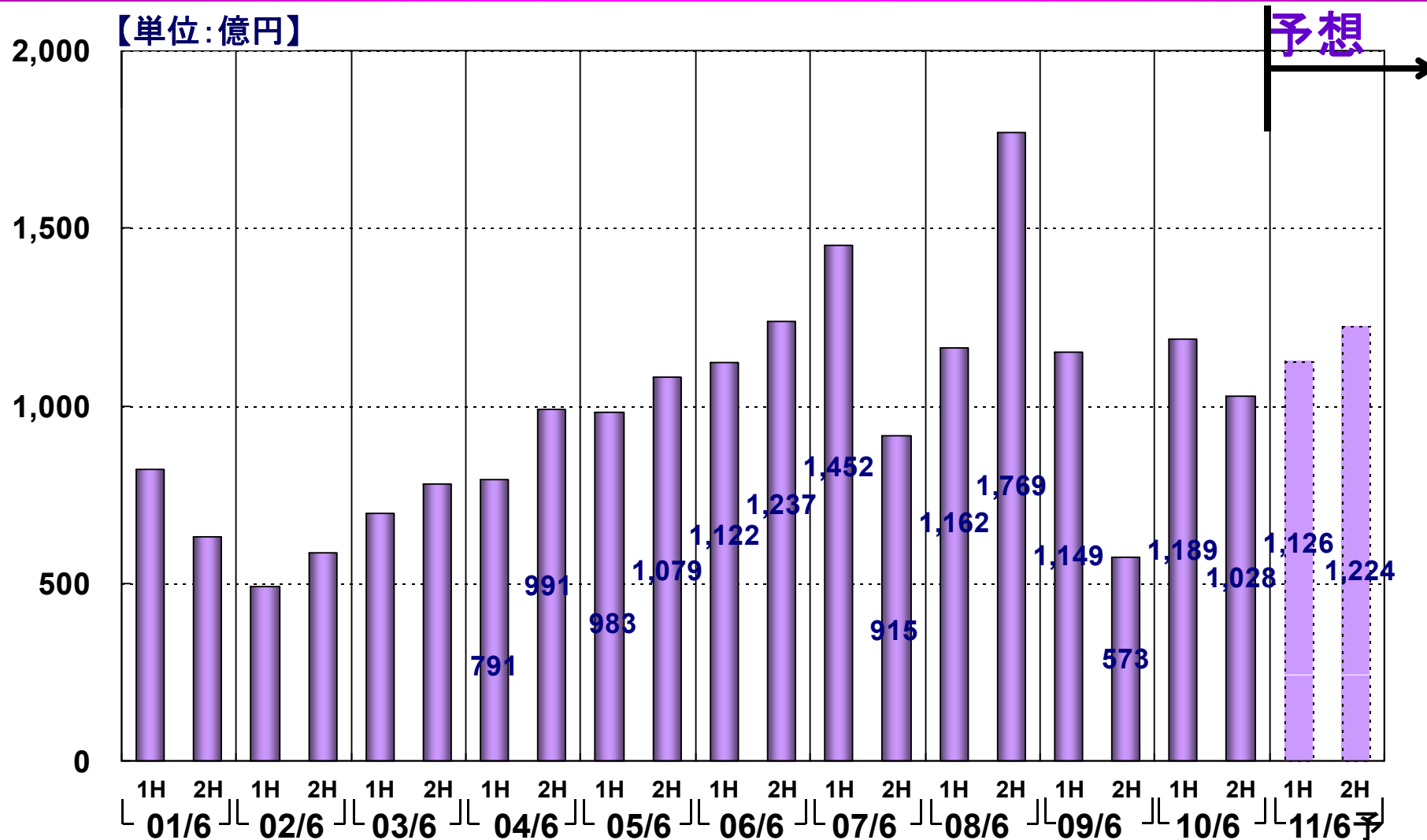
経営環境(2Q以降)

- アルバックをとりまく環境
 - ▶ 円高の状況は継続
 - ▶ 半導体、FPD(液晶)など堅調だが下期は予断を許さない
 - ▶ エネルギー・環境関連は引き続き堅調
- 既存分野
 - ▶ 半導体関連はメモリ大手が今後も投資継続の見込み
 - ▶ TV用液晶ディスプレイは投資計画が不透明
 - ▶ LEDは中国、韓国、台湾、日本とも堅調。設備投資が活発な動き
- 新規分野
 - ▶ 不揮発メモリで新規顧客からの引き合い増
 - ▶ 有機ELはスマートフォンやTV用で引き合い活発
 - ▶ 太陽電池は市場が回復し再び成長。中国が生産拠点の中心に
 - ◆ 薄膜、結晶系、ヘテロジャンクション、化合物系など
 - ▶ 環境対応車関連は順調に拡大
 - ◆ コンデンサー、パワー半導体堅調
 - ◆ 希土類永久磁石は中国でチャンス広がる
 - ◆ 自動車用窓ガラスのプラスチック化対応のコーティングで新たなビジネスチャンス

真空テクノロジーで
「つくる」をつくる、アルバック
ULVAC

受注高推移・予想

添付資料

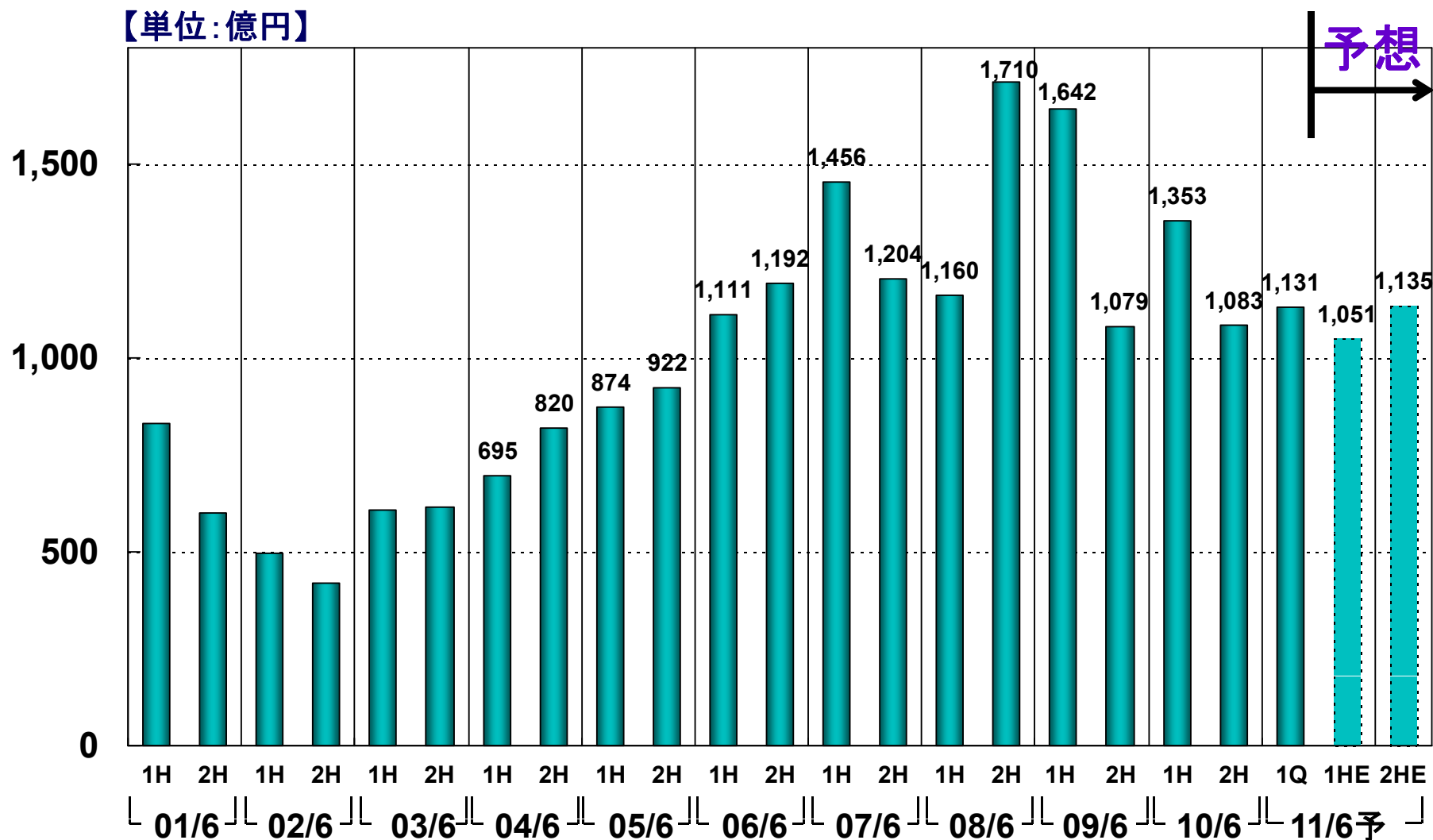


【小数点以下は四捨五入】

受注残高推移・予想

添付資料

【単位：億円】

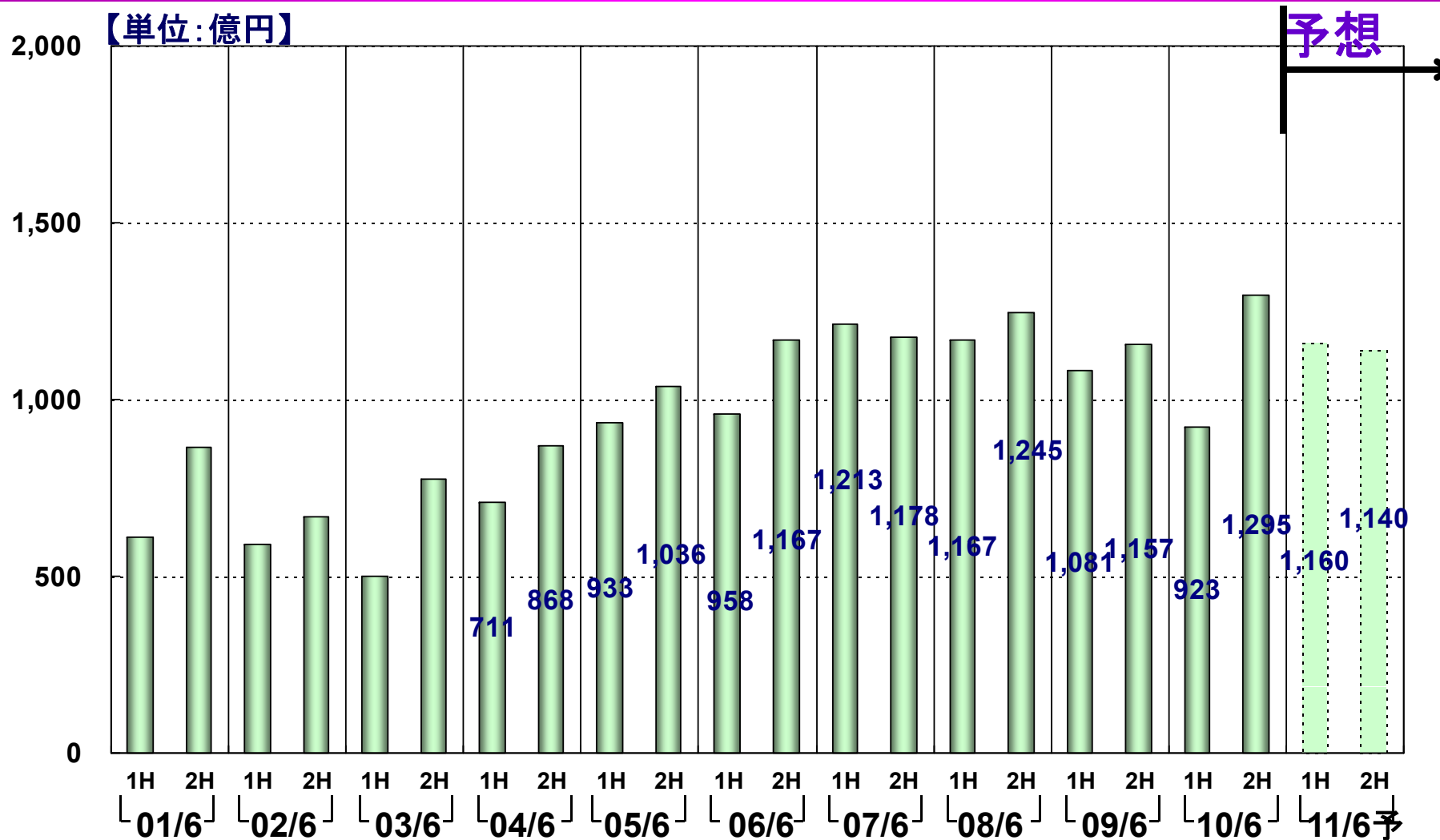


予想

【小数点以下は四捨五入】

売上高推移・予想

添付資料

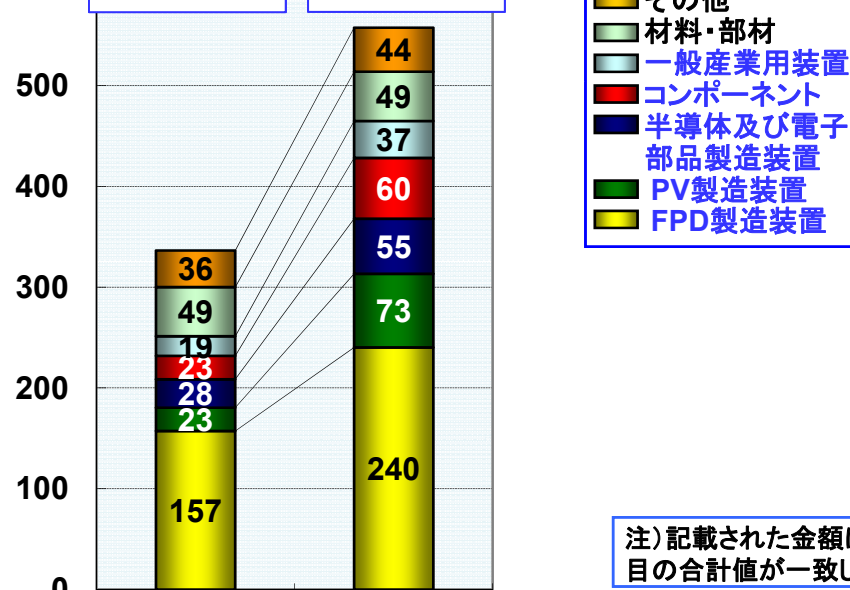


【小数点以下は四捨五入】

品目別売上高実績(前年同期比)

添付資料

【単位:億円】 600 10/6期 1Q 11/6期 1Q



注)記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。

【単位:億円】

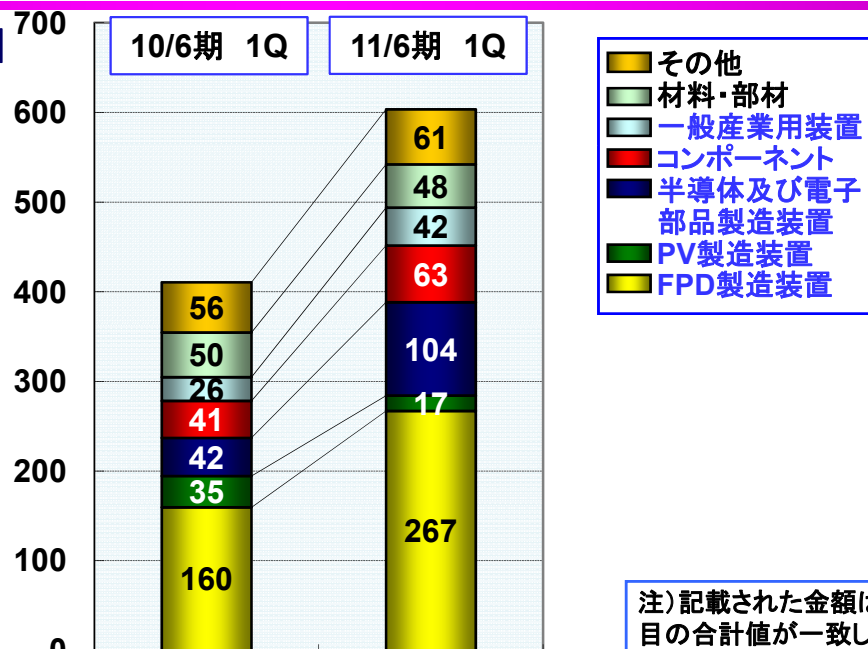
10/6期 1Q		
セグメント	売上高	構成比
真空機器事業	251	75%
FPD製造装置	157	47%
PV製造装置	23	7%
半導体及び電子部品製造装置	28	8%
コンポーネント	23	7%
一般産業用装置	19	6%
真空応用事業	85	25%
材料・部材	49	14%
その他	36	11%
合計	336	100%

11/6期 1Q		
売上高	構成比	前年同期比(増減率)
465	83%	+83%
240	43%	+50%
73	13%	+219%
55	10%	+91%
60	11%	+160%
37	7%	+86%
93	17%	+9%
49	9%	+3%
44	8%	+18%
557	100%	+64%

品目別受注高実績(前年同期比)

添付資料

【単位:億円】



注)記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。

【単位:億円】

10/6期 1Q			11/6期 1Q		
セグメント	受注高	構成比	受注高	構成比	前年同期比 (増減率)
真空機器事業	305	81%	494	82%	+63%
FPD製造装置	160	39%	267	44%	+68%
PV製造装置	35	17%	17	3%	-51%
半導体及び電子部品製造装置	42	10%	104	17%	+150%
コンポーネント	41	10%	63	10%	+54%
一般産業用装置	26	6%	42	7%	+60%
真空応用事業	106	26%	110	18%	+3%
材料・部材	50	12%	48	8%	-2%
その他	56	14%	61	10%	+8%
合計	411	107%	604	100%	+48%

ULVAC

